

---

## 9月のお代官様～ひまわり

誰のために咲いたの それはあなたのためよ  
白い夏の陽ざしを浴びて こんなに開いたの  
恋の夢を求めて 回るひまわりの花  
そしていつも見つめてくれる あなた太陽みたい



9月や言うのに、なして「ひまわり」・・・先日、京都で午後のシャンソンショーに行ってきました。ジャズピアノのプロローグから、歌姫がショーのオープニングで歌ったのがこの曲、同世代のアイドル歌手・伊藤咲子さんの「ひまわり娘」でした。シャンソンと聞いたら「愛の讃歌」とか「枯葉」のような、どんより曇ったパリの空のイメージですが、我らが歌姫は違います。本人は、向日葵のイメージのゴールドイエローのドレスで、猛暑の四万十から帰ってきた勢いで、夏を歌い上げてくれました。



歌姫は、京都産業大学出身の「中森万美子」さんで、京都は伏見のレミューズカフェや祇園などで、素敵な歌声を聞かせてくれます。リッチな気分になれること間違えありませんので、チャンスがあれば追いかけてみてください。



音楽と言えば、友人が出演する吹奏楽や第九の合唱を聞きに行くぐらいで。最近買ったCDは、竹内まりやで「マジで恋する5秒前」なんて聴いて、「向日葵のイメージのヒロスエの歌だっ！」なんて喜んでます。ここ2~3ヶ月は、YouTube開いて、各国の国歌を見て聴いて覚えています。これはラグビーワールドカップに備えて、対戦相手のNational Anthemと一緒に歌いたいからで、自慢ですが出場20ヶ国の国歌は、それらしく歌えるようになりました。覚えるのが大変だったのが「ひまわり」が国旗にデザインされているラテン系の国でした。前奏が長く、歌詞に届くまで時間がかかる「アルゼンチン」・・・これは、勢いよく「オーフレイモス・コングロリアモリアル」を繰り返します。世界一演奏時間が長い国歌は「ウルグアイ」・・・テンポ良く「ケッ・サブレスモス・コンプリール」

合わせて、日本が最初に対戦する国、「ロシア」・・・暗号みたいなアルファベットでRが反対に向いてたり、Cがエス、Pがエルでスパシーボ。開会式の後のオープニングゲームですから、しっかり「ブラーツキフ・ナローダフ・サユース・ビカボーイ」と力強く歌わねば。しかも、国花が「ひまわり」で、かつての主食がひまわりの種とか。



英語でサンフラワー、フランス語でソレイユ、ジャパニーズでは「向日葵」とか「日回り」なんて漢字があてがわれています。花言葉は、憧れ、あなただけを見つめる。プラス思考で、明るいイメージの「ひまわり」・・・そんなイメージで、9月20日開催のラグビーワールドカップを応援したいと思います。Come on Japan!

